

# 専教寺報

浄土真宗本願寺派 一乗山 専教寺

題字 大橋曾水

〒714-1201 岡山県小田郡矢掛町矢掛2033

TEL.0866-82-0488

URL:<https://www.senkyoji.com/>

E-Mail:[senkyoji@senkyoji.com](mailto:senkyoji@senkyoji.com)



## お慈悲に抱かれて

住職 釋龍生

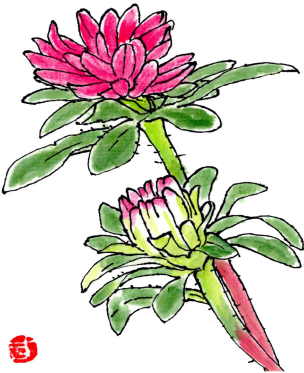
先日、笑福亭鶴瓶さん主演の「35年目のラブレター」という映画を観た。

この映画はノンフィクションで、モデルとなったのは奈良県在住の西畑保さん、今は亡き餃子さん夫妻だ。

八十年前の戦争もたらした戦中、戦後の社会背景の中で、誰もが精神的にも、肉体的にも蝕まれながら人生を翻弄されていた。その苦難は、保さんの幼少の身の上においても例外ではなかった。小学校二年生の時に母親を病気で亡くし、

それと時を同じくして、貧しさ故のある出来事で学校でいじめに遭い、不登校となった。その不登校を最後にそれ以後は、全く学校に通わなかった。その結果、文字の読み書きができないままに大人になってしまふ。大人になってからの保さんは、社会の理不尽さに生きづらさを感じる中で、自身の境遇に理解を示す寿司屋の大将と出会う。そして寿司職人としての仕事を、定年まで全うすることで人生を新たに切り拓いていく。その間、奥さんとなる餃子さんと、気乗りしなかった見合いをするが、この見合いが運命

的な出逢いとなって結婚する。しかし文字の読み書きができないことについては、結婚後も餃子さんには内緒にしていた。だが隠し事をするということは、大体の場合において長くは続かないものである。ある日、町内会の回覧板に世帯主である自らの署名を求められ、ついに読み書きができないことが奥さんにバレてしまふ。保さんは別れることを覚悟して、



その現実を打ち明ける。  
しかし奥さんの反応は意  
外なものだった。餃子さ  
んは保さんに対して、

「辛かったな、これから  
一緒にがんばろ、今日か  
ら私があんたの手になる  
わ、あんたが書けるよう  
になるまでの代わりにな  
るね」

保さんは、餃子さんと  
結婚して間もない頃、餃

子さんから一通のラブレ  
ターをもらったことがあ  
る。しかし文字の読み書  
きができない保さんには、  
そのラブレターが読めず  
に内容も分からずじまい  
だった。保さんは長年勤  
めてきた寿司屋の定年を  
迎えるとともに、餃子さ  
んに自らの字で綴ったラ  
ブレターをお返ししたい

と心機一転、夜間の中学  
に入学して、文字の読み  
書きを勉強するのである。

親鸞聖人（以下、宗祖）  
のご和讃に、

十方微塵世界の  
念仏の衆生を

みそなはし

摂取してすてざれば

阿弥陀となづけ

たてまつる

とある。

このご和讃の意味は、  
数限りないすべての世界  
の念仏するものを見通さ  
れ、摂め取って決してお  
捨てにならないので、ア  
ミダと申しあげる、であ  
る。

先の映画の、従来文字  
の読み書きができないこ  
とが奥さんにバシる場面  
この時、いつも恵まれな



い境遇に身を置くことを  
余儀なくされていた保さ  
んは、「結局、俺の人生  
なんて・・・」と、また  
もや人生のドン底に突き  
落とされたような気持ち  
だったのではなかっただ  
ろうか。だから奥さんの  
自身の歩んできた人生を  
丸ごと肯定してくれて、  
なおかつ優しく包みこむ  
ような、先の言葉にどれ  
だけ心から救われ、どれ  
だけ安心したことだろう  
か。

先のご和讃に、摂取と

いう言葉が出てくる。宗  
祖はこの言葉の意味を、  
「一念多念文意」という  
お書物に、「摂はをさめ  
たまふ、取はむかへとる」  
と示される。私たちは煩  
悩具足の凡夫であって、  
何人たりとも例外なく本  
来救われるはずのないも  
のである。私たちの現実  
の姿は、救われるはずも  
なく、どうしようもなく、  
あたかも未踏の雪原を行  
く当てもなく、さまよい  
歩いているようなもので  
ある。アミダさまは、そ  
んな極限の状態に置かれ  
ているにもかかわらず、  
その現実を受け入れない  
どころか、むしろ背を向  
けて逃げ惑う私たちに、  
「辛いね、苦しいね、で  
ももう大丈夫だよ、あな

たが仏さまになるまでずっとそばに寄り添っているよ、そして救いのはたらきが、あなたの身に沁み入るようにはたらき続けるよ」と、お念仏を通して常に優しく語りかけてくださっている。

アミダさまは、私たちがどこにいても、どんな姿であっても、優しく手を差し伸べて、温かく包みながら、必ず救ってくださる仏さまである。私たちは、誰一人として同じではないたった一つの人生を歩む中で、さまざまな境遇を受け入れながら、精一杯生きている。しかしどんな生き方であっても、アミダさまは全ての生きとし生けるものと同じく、分け隔てなく、



挿絵 内村 壽美子

今年は11月23日(日)に **報恩講法要** が勤修されます。

このたびのこのご縁は 初事と思うべし  
このたびのこのご縁は 我一人の為と思うべし  
このたびのこのご縁は 今生最後と思うべし

お聴聞の心得です。ご講師がどんなご法話を取り次いでくださるか心待たれる今日このごろ。大切なご縁です。このご縁を逃すことなく共に味わわせていただきます。ご家族でぜひお参りください。



# 感じ方のちがいを大切に

坊守 佐々木ひろみ

本堂に「MIDO SAN (御堂さん)」という雑誌が置いてあります。内容は、有名人のインタビュー記事やエッセイに始まり、法話や、浄土真宗の教えを易しく説いたコラムなどで構成されています。

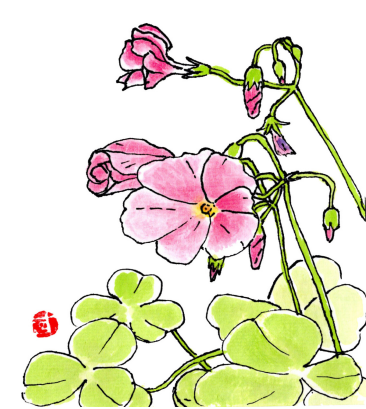
最近、生成AIが使われる世の中になってきました。私も、人に教えてもらって、試しに使ってみました。すると、びっくりするぐらい便利なのです。例えば、冷蔵庫の中の食材を見て、何を作ろうかなと思ったとき、「イタリア料理みたいなのを作りたい。なす、タマネギ、豚肉、・・・を

使って。教えて。」などと入力すると、三秒で、材料、分量、作り方が表示されます。また、文章を書きたければ、使いたいキーワードを入れると、あっという間に作文もしてくるのです。ただだ、驚きます。知り合いは、AIに相談をしてみました。しく、「どうすればいい？」なんて入力すると、共感したり、褒めてくれたりした上、適切な答えもくれたそうです。すごい。ですが、何だか恐ろしくなります。AIが出すものを参考にしたり、自分の考えをもった上で利用したりするのは便利でいいと思います。でも、それだけに頼ると、自分で考えられなくなったり、自分の言葉で表現することができなくなったりしてしまうのではないのでしょうか。

先日、息子がイソップ物語の「アリとキリギリス」を読みました。「アリのようにコツコツ働くことは大切だ」という教訓を伝えている話です。以前から、本を読むと「その視点で見るのね・・・」と思わされる感想を時々言う子なのですが、今回も、「キリギリスは、働かずにならずと歌っていた

有名人说いました、タレント、漫画師、テレビでおなじみの社長などさまざまです。それを読むと、その方の経験や考えに感心する一方で、自分自身の「思い込み」に気付かされるのです。自分がテレビで見た印象によって、「この人がこんなことを言うなんて意外だな。」と思ってしまう

使って。教えて。」など



4



ら、食べる物がなくなつて死んじゃったんだね。かわいそうだね。アリスは、『食べ物のためにあなたの方がいいよ』と教えてあげればよかったのに。ばかにしちゃだめだよ。』と言いました。「なるほど、そう感じたんだね」と思いました。それが人それぞれの感じ方であり、きっと、AIでは出てこないでしょう。いくら便利な世の中になっても、それぞれの感性を大切にし、自分の言葉で思いを伝えることは大切にしていきたいと思っています。



## 臥龍松保存のための寄付をお願いします

臥龍松を維持管理するには  
たくさんのお金がかかります。  
矢掛町の重要文化財の保存に  
ぜひともご協力下さい。

一口1,000円から受付けています。  
1,000円ご寄付の方には臥龍松のポストカード  
をプレゼント。お寺にご連絡下さい。

※この寄付はあくまで任意です。

## 仏教讃歌

毎月第2火曜日 午後1時30分～（変更あり）

講師：奥野 純子（ソプラノ）

ご近所の門信徒を誘って、ぜひご参加ください。

お待ちしております。



たよってうれしい、たよられてうれしい。

認定NPO法人 おてらおやつクラブ

専教寺では、困窮する家庭の支援や子どもたちを育むために、おてらおやつクラブに登録して物資支援の活動をしています。集まった支援物資はおてらおやつクラブに登録している支援団体へ届けさせてもらっています。

今後、ご協力いただける方は、以下の物を専教寺に届けてください。

(持ち込みでも宅配便でも受け付けます)

支援物資は随時受け付けております。

少しでも構いませんので、ご協力いただけるとありがたいです。

- ・食料品（消費期限まで1ヶ月以上あるもの）
- ・文房具（新品）
- ・子供服（洗濯済、汚れのないもの）
- ・玩具（小学生以下対象）

専教寺の墓地をご使用されるご門徒の皆様へ

### 墓地清掃時の除草剤使用についてのご注意

植木屋さんによりますと、臥龍松の根は非常に長く、境内だけでなく墓地の地下にも広く伸びているそうです。そのため、墓地に除草剤を撒くと、臥龍松に影響が及ぶ恐れがあります。特に粒状の除草剤は、松などの境内の木を枯らしたり、葉の色を変化させたりする原因となる場合があります。

つきましては、次の点についてご協力をお願いいたします。

- ・墓地を清掃される際は、できるだけ除草剤の使用をお控えください。
- ・やむを得ず使用される場合は、**粒状のものではなく液体タイプのもの**をご使用ください。



# 永代経法要

令和7年4月27日(日)



## お知らせ

来年令和8年より、これまで毎年1月1日の午前中(午前10時～)におつとめしてまいりました元旦会を、除夜会終了後に引き続いておつとめさせていただくこととなりました。したがって、元旦会は、従来の1月1日午前中から、除夜会終了後の深夜(午前0時45分～)のおつとめへと変更になります。つきましては、元旦会にお参りくださる門信徒の皆さまにおかれましては、深夜のお参りとなりますので、くれぐれもお気をつけてお参りくださいますようお願い申し上げます。

## 専教寺伝言板

専教寺の臥龍松の紹介映像を

倉敷市公式 YouTube

「高梁川流域デジタルアーカイブ」

で観ることができます。

専教寺のホームページにもリンクを貼っていますので、ぜひご覧ください。



## 報 恩 講

11月23日(日) 正午～ (受付:午前11時30分～)

講師: 本願寺派司教・総合研究所所長 佐々木 義英 師

## 除 夜 会

12月31日(水) 午後11時45分～

大みそかの夜、1年の行事のしめくりとしておつとめし、除夜の鐘をつきます。

## 元 旦 会

令和8(2026)年1月1日(木) 除夜会終了後

来年より、除夜会に引き続いておつとめいたします。

午前0時45分～